散薬計量記録システム

# CAMEL50

## 取扱説明書

*Craft Work Corp.*
*innovates on practices*

# 目次


◆はじめに
- ■安全上のご注意 …… 2
- ■あらかじめご承知頂きたいこと …… 2
- ■使用上のご注意 …… 2
- ■同梱品 …… 2

◆機器構成
- ■各機器の接続 …… 3
- ■システムの起動と終了 …… 4

◆PDA の基本操作
- ■各部の名称 …… 5
- ■用語の説明 …… 5
- ■文字入力の方法 …… 6

◆最初に設定しておく項目
- ■薬剤師を登録する …… 8
  - ①新しく追加するとき …… 8
  - ②削除するとき …… 10
  - ③名前を変更するには …… 10
- ■使用薬品を登録する …… 11
  - ①新しく追加するとき …… 11
  - ②登録されている薬品を確認する …… 14
  - ③コード･登録名称を変更したいとき …… 16
  - ④薬品を削除するとき …… 16
  - ⑤バーコードラベルを印刷する …… 16

◆調剤記録
- ■はじめに …… 17
- ■操作順序の説明 …… 18
- ■薬品を取り違えた場合のキャンセル …… 20
- ■賦形剤の計量方法について …… 22
- ■秤量単位の切り替えと秤量合計について …… 23
- ■登録していない薬品を量るときは …… 23
- ■途中でやめる場合は …… 23
- ■Fatal Error と表示された場合 …… 24
- ■直前の調剤記録の印刷 …… 24
- ■ご注意ください …… 24
- ■調剤記録の事後参照 …… 25

◆充填記録
- ■操作順序の説明 …… 26
- ■途中でやめる場合は …… 27

◆困ったときは 28




# はじめに

## ■ 安全上のご注意

注 意

●本体、電子天秤、プリンタそれぞれに指定のACアダプタ以外のものを使用しないでください。

●機器を分解したり、または、改造するなどは絶対にしないでください。

## ■ あらかじめご承知頂きたいこと（免責事項）

●本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。

●万一、本製品または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

●故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

## ■ 使用上のご注意

●データエラーのご注意

本製品は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがありますので、操作にはご注意下さい。

- 通信中に接続ケーブルをはずした。
- 記録、印刷中に電源をオフにした。
- その他の異常動作

●使用環境についてのご注意.

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃(結露しないこと)です。

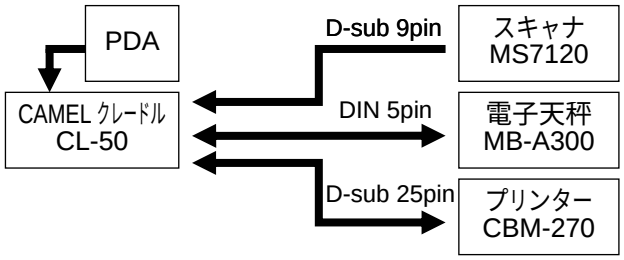
●メンテナンスについてのご注意

- 本体の塗装がはげたり、変質する原因になりますので、シンナーやベンジンなどで拭かないでください。

# 機器構成

## ■ 各機器の接続

本システムは、下記の機器により構成されています。
製品の仕様により、個々の機器がご使用のものと異なる場合がありますので、
本取扱説明書の写真等と意匠が異なる場合があります。



## ■ システムの起動と終了

本体、電子天秤、プリンタの電源スイッチをONにしてください。

PDAのアプリケーション起動ボタン（下図：◎）を押すと、RECMEDIC が起動し、下記のスタート画面が表示されます。

一日の業務を終了する際には、電源ボタンを押して、PDAの電源をオフにしてください。

本体、プリンタ、電子天秤の電源スイッチをオフにしてください。

ご注意ください！　本システムは、プリンタの用紙残量を検地しませんので、プリンタの紙切れには十分ご注意ください。

## PDA の基本操作

ここでは、PDA の操作方法のうち、本システムで必要となる箇所について記載しています。より詳細な使用方法については、PDAに同梱の「クリエ読本」をご参照ください。

### ■ 各部の名称

写真のモデルは PEG-TJ25 です。SJ33 は電源ボタンが左側になります。

**スタイラス**
薬品登録などの操作の際に使用するツールで、本体側面に挿入されています。

**スクリーンキーボード アイコン**
数字・文字の入力に使用するスクリーンキーボードを起動します。

**電源ボタン**
電源のオン・オフを行います。

**スクロールボタン**
画面をスクロールする際に使用します。

**起動ボタン**
アプリケーションを起動します。

### ■ 用語の説明

タップ　：スタイラスなどで、画面を軽くタッチすることを言い、PDA の操作の基本となる動作です。たとえば、上記画面で、 のアイコンをタップすると、「電卓」アプリケーションが起動します。

ご注意ください!　PDA画面には保護カバーを貼付していますが、強い力で画面を押すと液晶が破損することがあります。

フィールド：PDA の画面上で、データが表示される場所を言い、点線による下線で示されています。



### ■ 文字入力の方法

薬剤師や薬品の登録の際には、文字・数字を入力する必要がありますが、ここでは、その方法について説明します。

※文字を入力するときは、PDAを本体から取り外したほうが便利です。
PDA奥を手前に持ち上げると外れます。

スクリーンキーボードアイコンをタップすると、ソフトウェアキーボードが起動します。

ソフトウェアキーボードには、ひらがな、カタカナ、アルファベット(abc)、数字・記号(123)の4つの入力モードがあります。

各モードの切り替えは、ソフトウェアキーボード下部のアイコンをタップすることで行ないます。

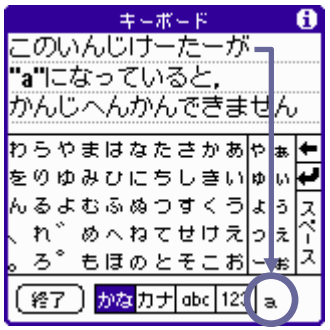
文字入力には、本書で説明しているソフトウェアキーボードによる入力のほか、Graffitiエリアに直接手書き入力する方法もあります。詳しくは、「クリエ取扱説明書」をご参照ください。

## 漢字入力

ひらがな、カタカナ、アルファベット（ローマ字変換）のいずれのモードでも入力できます。

ソフトウェアキーボード右下のインジケーターが“あ”となっていることを確認してください。
このインジケーターが“a”になっていると、英字入力モードになっており、漢字変換できません。

この場合は、[日/英]をタップして“あ”を表示させ、日本語入力モードに切り替えてください。




入力した文字列を漢字変換するには、「スペース」をタップするか、Graffiti入力エリアの[変換]をタップすることにより行ないます。目的の漢字変換候補が表示されたら、[確定]をタップして確定します。何回かタップしてください。文節の区切りなおしは、システムが自動的に行ないます。

## 英字入力

英字入力モード（画面の右下に“a”の表示）に設定し、アルファベット(abc)のモードを選択します。

大文字を入力するには、シフトキー⇧かCapsLockキー⇪をタップしてください。前者はタップ後の一文字のみ大文字となり、後者は常に（解除するまで）大文字となります。

入力が終われば、「終了」をタップしてください。元の画面（ソフトウェアキーボード起動前の画面）に戻ります。



# 最初に設定しておく項目

## ■ 薬剤師を登録する

### ① 新しく追加するとき

スタート画面で、「薬剤師の登録変更」をタップすると、画面右側に「薬剤師登録・変更」のサブ画面が表示されます。

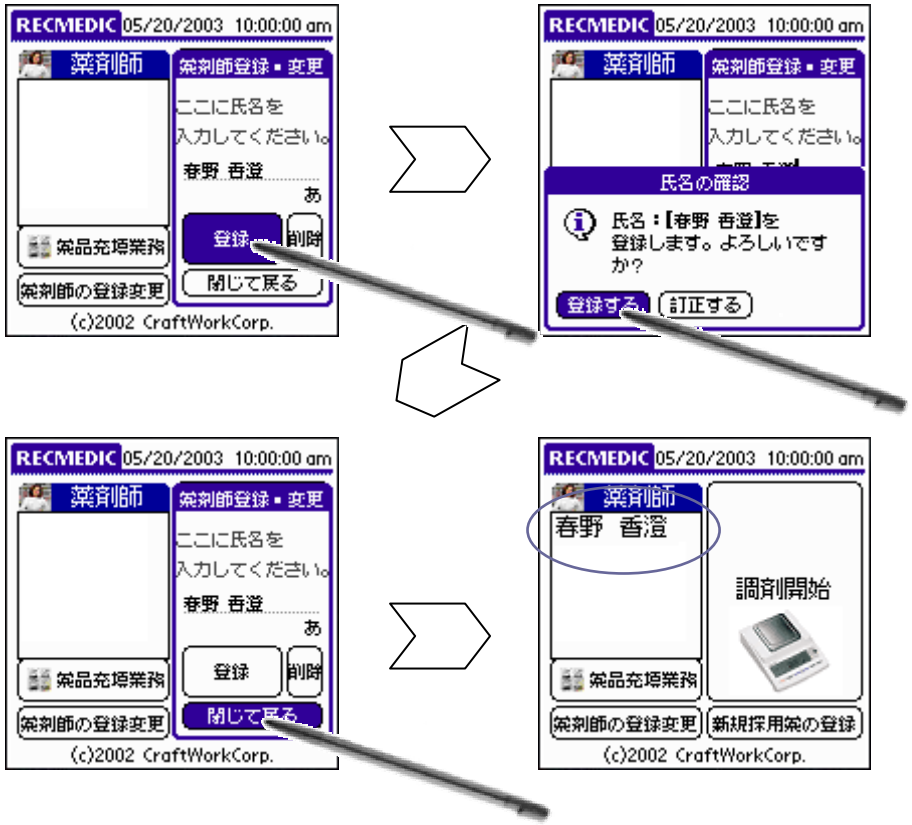
ソフトウェアキーボードを立ち上げて、名前を入力してください。

ここでは、「かな」モードを使用した入力の方法を説明します。

名前をひらがなで入力し、「スペース」をタップすると、漢字に変換されます。正しく変換されない場合は、文字の区切りを変えるなどしてください。

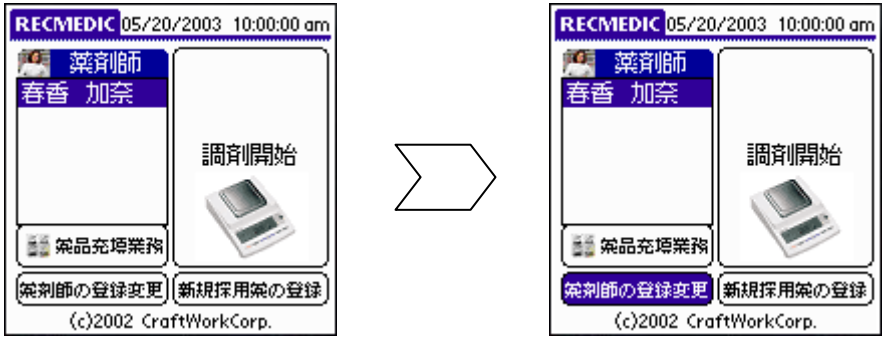
終了をタップすると、キーボードを終了して、元の画面に戻ります。

ここで、「登録」をタップすると、登録が実行されます。さらに、「閉じて戻る」をタップすると、「薬剤師登録・変更」サブメニューを終了し、スタート画面に戻ります。
スタート画面で、先ほど登録された薬剤師が登録されているのを確認してください。

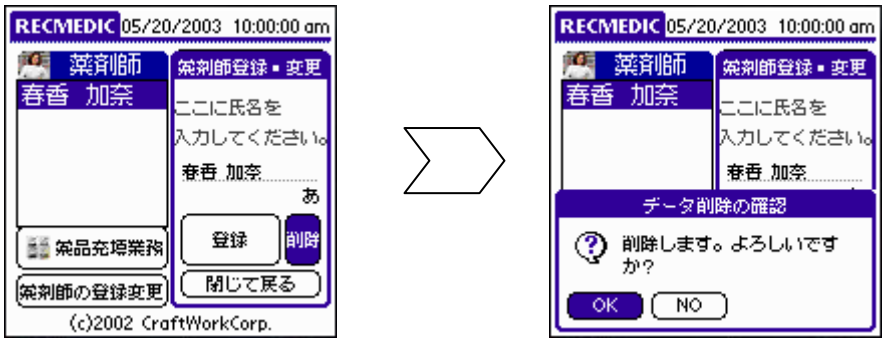





**②削除するとき**




削除したい名前を選択（タップ）して、「薬剤師の登録・変更」をタップします。




「削除」をタップすると、削除してよいかどうか聞いてきますので、「OK」をタップして、削除してください。その後、「閉じて戻る」をタップすると、スタート画面に戻ります。

**③名前を変更するには**

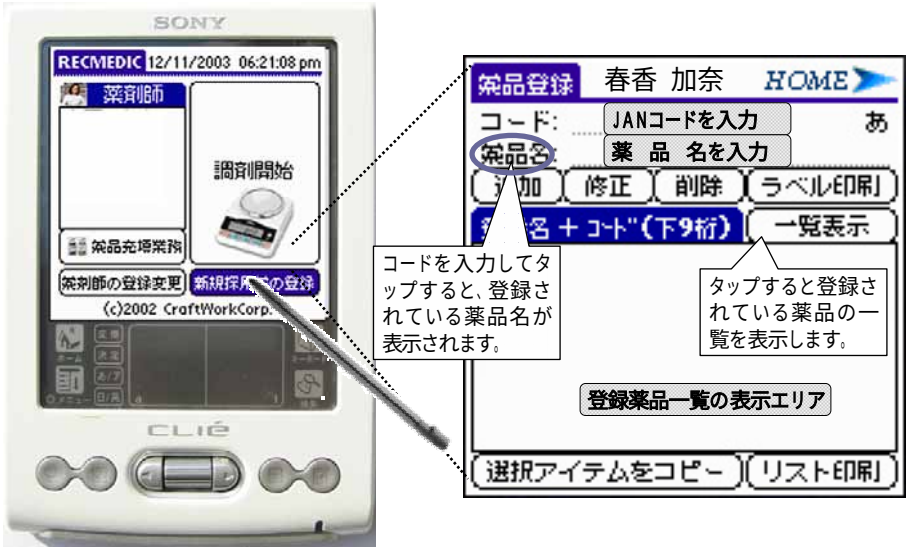
名前を変更するには、②の手順で一度「薬剤師登録・変更」画面に氏名を呼び出し、修正して「登録」します。別名として登録されますので、再度、変更前の氏名を呼び出し、「削除」します。

## ■ 使用薬品を登録する

### ① 新しく追加するとき

使用薬品の登録は、「薬品登録」画面から行ないます。

スタート画面で、「新規採用薬の登録」をタップして、「薬品登録」を表示してください。(左図) 登録する担当者を記録する場合は、薬剤師を選択 (タップ) してください。登録画面に選択した薬剤氏名が表示されます。




「コード」欄のフィールドにカーソルが点滅しています (右図)。

このフィールドに登録する薬品の JAN コード (”4987”で始まる 13 桁のコード) を入力してください。

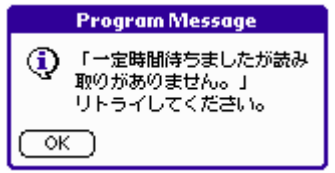
※ JANコードは薬品容器の側面などにバーコードとともに印刷されています。

※ コードの入力には、ソフトウェアキーボードを立ち上げ、数字・記号入力にすると便利です。(右図)

※ バーコードリーダーから直接コードを読み取ることもできます。

画面左上の「薬品登録」と表示されているタイトルラベルの部分をタップするか、画面左下部のメニューボタンをタップして、メニュー (MENU) を表示し、「バーコードの読み取り」を選択すると、バーコードから読み取ったコードを画面表示します。

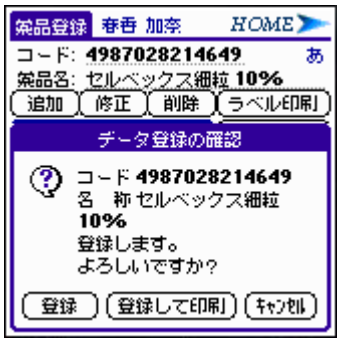
15秒以上入力がないと、リトライ (やり直し) になりますので (右図)、MENU (のタップ) から再実行してください。




JAN コードを入力したら、「薬品名」欄のフィールドをタップして、薬品名を入力してください。

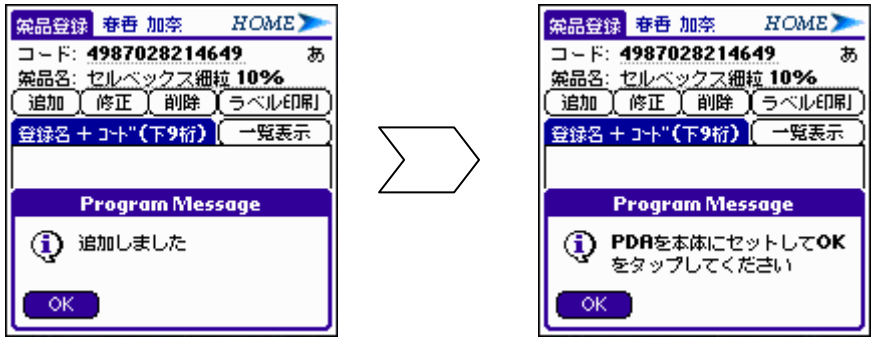
薬品名として登録できる文字数は、全角 (漢字・かな) で 11 文字までです。

JAN コード、薬品名ともに入力できたら、「追加」をタップしてください。




右下図の確認画面で、「登録」をタップすると登録、「ｷｬﾝｾﾙ」をタップすると、「追加」をタップする前の状態に戻ります。

「登録して追加」をタップすると、コードを登録した後に、担当者・時刻の記録とともに登録履歴を印字します。コードメンテナンスの記録を残したい場合にご利用ください。印刷を実行する前にPDAを本体にセットしてください。




**作業者：春香　加奈**
**区　分：追加**
**コード：4987028214649**
**薬品名：セルベックス細粒 10%**
**2003/09/15　10:00:00**

= HINT =　独自コードの設定について

予製品等を独自にコード設定する場合は、JANコードの規則に従った設定を行ってください。つまり、頭4桁が“4987”で始まる13桁のコードを使用することになります。また、最後の13桁目はチェックディジットとなり、自働的に計算付加されますので、ユーザーが設定できるのは5桁目から12桁目になります。

例）

| 1 2 | 3 4 | 5 6 7 | 8 9 10 11 12 | 13 |
|---|---|---|---|---|
| 49 | 87 | 000 | 22222 | 8 |
| 日本 | 医薬品 | メーカー | 包装単位 | チェックディジット |

この部分が設定可能



**②登録されている薬品を確認する**

登録されている薬品を確認するには、画面に一覧表示する方法と一覧表を印刷する方法の2つの方法があります。

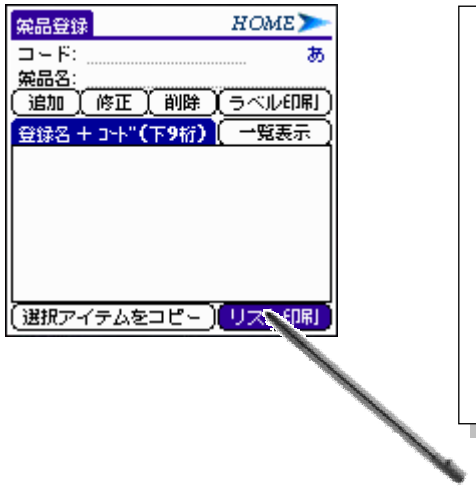
**2-1 一覧表を印刷**

登録されている薬品の一覧表をコード順に印刷します。

「薬品登録」画面で、「リスト印刷」をタップすると、印刷を開始します。

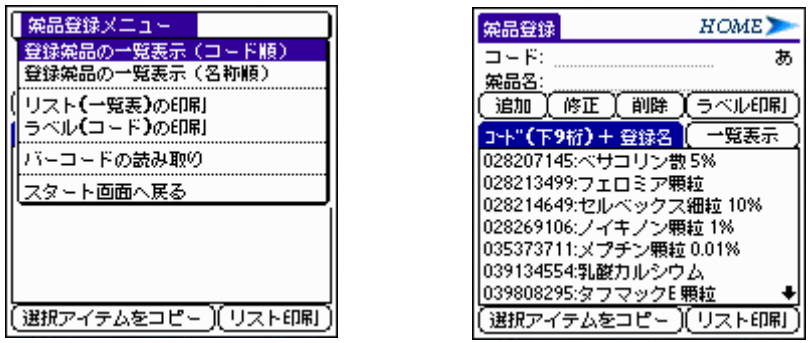
PDAは必ず本体にセットしておいてください。

（印刷例）

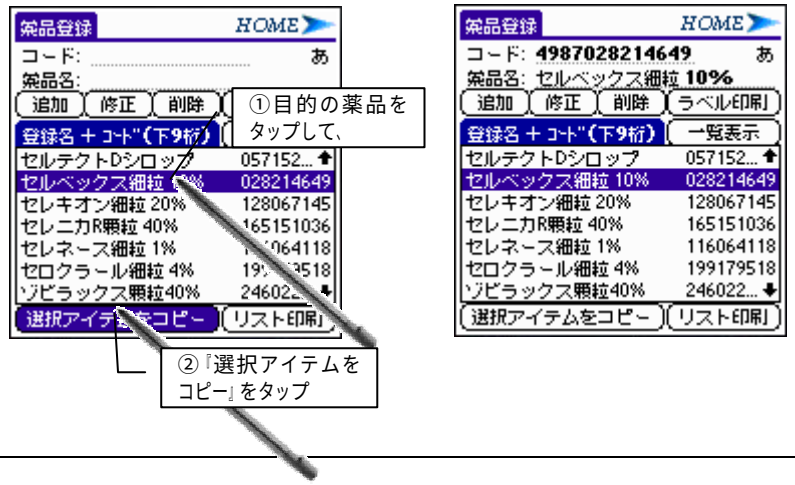


## 2-1 画面に一覧表示

登録薬品名を昇順で表示するほか、コード順で表示することもできます。




この一覧表示から、登録薬品を選択して、修正・削除することができます。






### ③コード・登録名称を変更したいとき

本システムでは、コードをキーにしてデータ登録していますので、薬品名の訂正の場合には「修正」、コードを訂正する場合には、新規に「登録」となります。

前項②の一覧表示で対象となる薬品をフィールドにコピーするか、コードを入力して「薬品名」欄をタップして薬品名を表示します。

薬品名を修正する場合には、訂正後、「修正」をタップ、

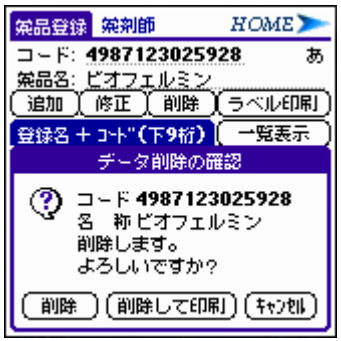
コードを変更する場合には、訂正後、「追加」をタップしてください。

追加の場合と同様、メンテナンスの記録を印刷して残すこともできます。

### ④薬品を削除するとき

削除した医薬品のコードを「コード」フィールドに入力し、「削除」をタップすれば、削除されます。

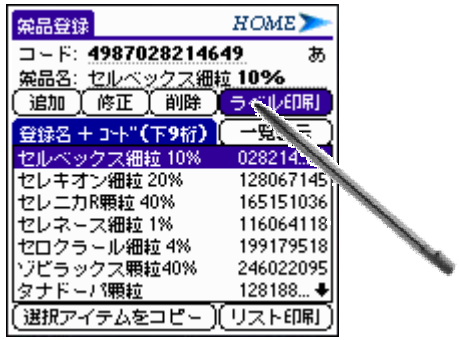
右図で、「削除」をタップすれば削除が実行されます。「削除して印刷」をタップすれば、削除を実行した後、印刷します。PDAを本体にセットしてください。「ｷｬﾝｾﾙ」をタップすると、削除がキャンセルされます。




### ⑤バーコードラベルを印刷する

装置ビンに添付するバーコードラベルを簡単に印刷することができます。

「薬品登録」画面で、「ラベル印刷」をタップしてください。



# 調剤記録

## ■ はじめに

本システムは、調剤記録終了後にスタート画面に戻る「通常モード」と、継続して計量する場合に便利な「連続モード」を選択設定することができます。

「通常モード」....調剤内容を記録してプリントするたびに、スタート画面に戻ります。薬剤師選択を都度行う場合にはこちらをご利用いただくと便利です。

「連続モード」....調剤内容を記録してプリントした後、そのままの状態で次のバーコードデータの受信を待ちます。薬剤師が交代するケースが少ない場合など、こちらをご利用いただくと便利です。

それぞれの設定は、スタート画面の「初期設定メニュー」から行います。

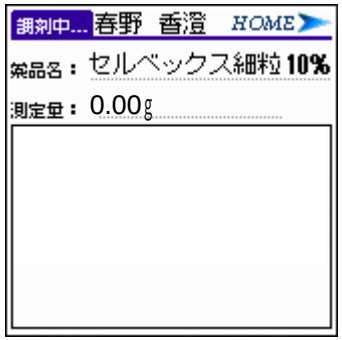
左図で、調剤記録後の戻りを、1:スタート画面（通常モード）、2:連続して記録（連続モード）のどちらかを選択し、「閉じて戻る」をタップしてスタート画面に戻ります。次回設定変更するまで、この設定が反映されます。

## ■ 操作順序の説明

薬剤師（=調剤者）を選択して、「調剤開始」をタップします。

PDAの画面が切り替わり、「調剤中。。。」「薬剤師名」が表示され、システムは、受信待ち状態となり、バーコードリーダー及び電子天秤からのデータ受信を待機します。

これで準備が整いました。

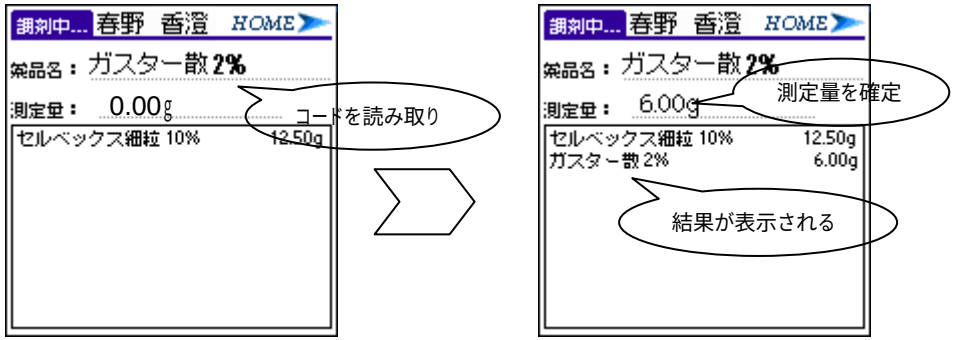



バーコードリーダーで JAN コードが読み取られると、薬品名を表示します。

※ 登録されていない薬品の場合は、JANコードをそのまま表示します。

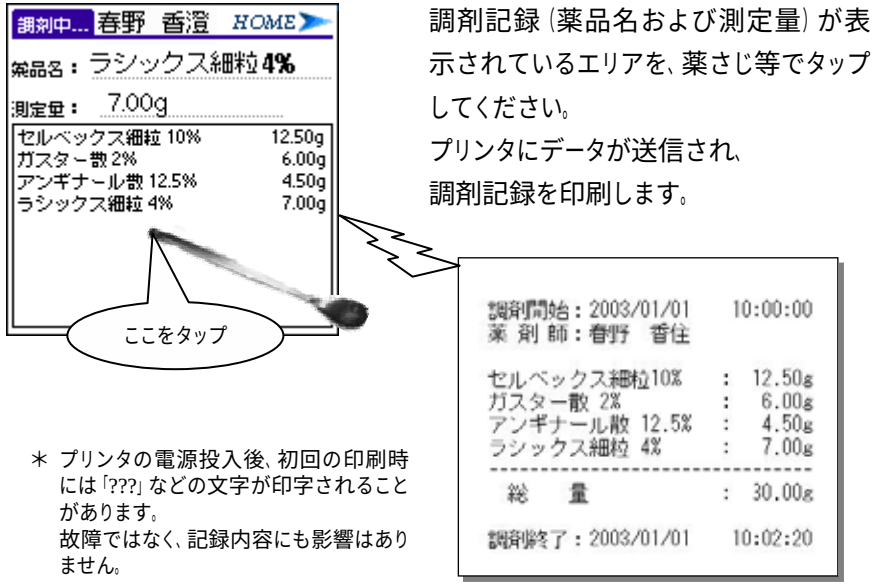
同時に、天秤データと同期し、「測定量」の項目に、電子天秤の安定時データが表示されます。

薬品を電子天秤で秤量します。
目的の量で、天秤が安定した後、秤量物を風袋ごと持ち上げれば、計測データが PDA に送信され、画面に表示されます。




同じようにして、次の薬品のコードを読み取り、秤量データを確定してください。これを必要なだけ繰り返します。

このようにして、測定すべき最後の薬品の測定が終われば、計測した内容をプリントします。




調剤記録（薬品名および測定量）が表示されているエリアを、薬さじ等でタップしてください。
プリンタにデータが送信され、調剤記録を印刷します。

＊ プリンタの電源投入後、初回の印刷時には「???」などの文字が印字されることがあります。
故障ではなく、記録内容にも影響はありません。

プリントアウトが終了すれば、画面の内容がクリアされ、再び調剤記録の待機状態に戻ります。初期設定(p.17 参照)での選択により、スタート画面に戻るか、もしくは、引き続き受信待ち画面(p.18 参照)で待機します。

## ■ 薬品を取り違えた場合のキャンセル

間違った薬品の読み取り、バーコードの読み取りエラー等で秤量前に薬品名をキャンセルする場合は、PDA下部のボタン(下図)を押して読み取りをキャンセルすることができます。この場合は、再度コードの読み取りから開始してください。

## ■ 賦形剤の計量方法について

計量時に下図囲みのボタンを押すと、天秤から計量剤を持ち上げなくても、

その時点の計量データを受信し、画面表示・記録します。そのことを明示するために、薬品名の頭に"*"を付加します。

```
調剤開始：2003/10/16      11:00:00
薬 剤 師：薬剤師

*炭酸水素ナトリウム   :    0.2g
酸化マグネシウム      :   19.8g
乳糖                  :   20.0g
――――――――――――――――――
  総     量             40.0g

調剤終了：2003/10/16      11:00:30
```

上の例では、炭酸水素ナトリウムを 0.2g 計量し、「賦形」ボタンを押して、秤量値を確定します。次に、酸化マグネシウムを 19.8g賦形し、合計で（天秤の表示が）20.0gになったときに剤を風袋ごと天秤から持ち上げ、秤量値を確定します。このとき、PDA画面上部の「測定量」エリアには、その時点の秤量値である 20.0g が表示されています。その後、3剤目として乳糖を 20.0g計量して、画面をタップし、調剤記録を出力したものです。

3剤以上を天秤上で混合計量する場合には、つど（1剤目と2剤目で）「賦形」ボタンを押してください。



## ■ 秤量単位の切り替えと秤量合計について

本システム標準の天秤「イシダ MB-A300」は、0.1g 単位（300g まで）、0.01g 単位（20g まで）のデュアルレンジ機能を持っており、本システムでも自動的に秤量レンジを判別して表示・記録を行ないます。

レンジの設定によって、調剤量の合計表示は、下図(a) ：0.1g 単位 または、(b)：0.01g 単位 のようになります。また、一調剤において、レンジを切り替えた場合には、表示値の単純合計を総量として表示します。（下図(c)）

(a) (b) (c)

## ■ 登録していない薬品を量るときは

未登録の薬品がバーコードリーダーから読み取られた場合、本システムは、未登録品としてその薬品のJANコードをそのまま表示・印刷します。

## ■ 途中でやめる場合は

調剤内容を印字せず、中止する場合は、起動ボタンを押してください。それまでの計量記録をキャンセルし、スタート画面に戻ります。

## ■ Fatal Error と表示された場合

PDAとCAMELクレードルの接触不良、ボタンの押し方の不具合などで、PDA画面に「Fatal Error」と表示され、システムダウン（反応しなくなる）した場合には、PDAをCAMELクレードルから取り外し、PDA裏面下部のリセットボタンをスタイラスで「軽く」押してください。PDAがリセットされます。この場合、未確定の調剤記録（計量中でプリント前のもの）は失われますがご容赦ください。

## ■ 直前の調剤記録の印刷

調剤終了時に画面をタップしても印刷されないことがあります。この場合には、再印刷ボタン（下図）を押すと直前の調剤記録を印刷します。

次の調剤記録に入った場合には、このボタンを押すと直前の調剤記録は印刷されますが、その回の調剤記録はキャンセルされますのでご注意ください（再度最初から行うこととなります）。

## ■ ご注意ください

調剤記録中に本取扱説明書に記載のないボタンを押したり、PDAスクリーンの指定の場所以外をタップしたり、また、PDAをCAMELクレードルから動かすようなことがあると、「Fatal Error」（前々項参照）としてリセットしなければならなくなりますのでご注意ください。

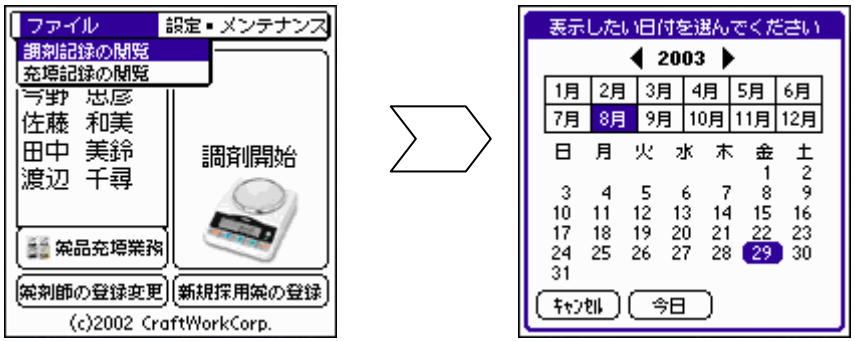
バーコードリーダーの読み取りのタイミングによっては、バーコードリーダーの読み取り音（ビッ）が鳴ってもPDAに何も表示されない場合があります。この場合には、再度読み取りを行ってください。



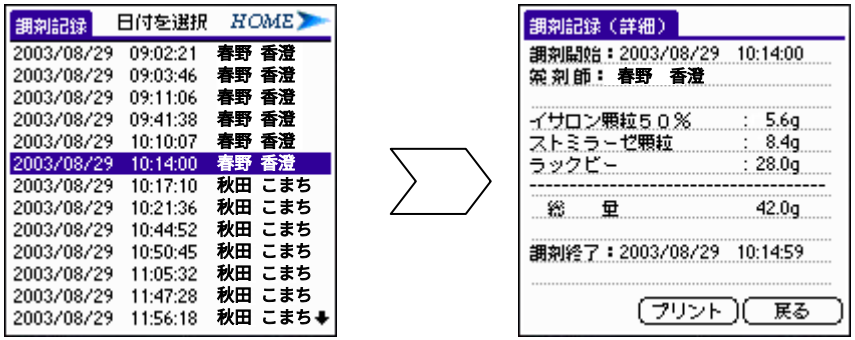
## ■ 調剤記録の事後参照

プリント指示した調剤記録は、データベースに蓄積され、事後参照することができます。

スタート画面でメニュー表示し(p.17 参照)、「ファイル」メニューを選択します。「調剤記録の閲覧」をタップすると、日付の選択画面が表示されます。調剤記録は1日ごとに記録されていますので、表示したい日付を選択してください。




日にちを選ぶと、その日に記録された調剤録が一覧表示されます。（表示しきれない記録を参照する際には、スクロールボタンでスクロール表示してください）調剤スタートした時刻と、担当者で選択するようになっています。



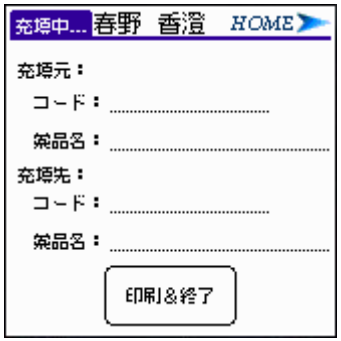

「プリント」をタップすると、表示された調剤記録を印刷します。

「戻る」をタップすると、調剤記録の選択画面に戻ります。

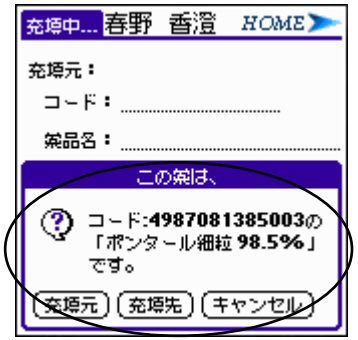
# 充填記録

## ■ 操作順序の説明

充填作業を行なう薬剤師をタップし、「薬品充填業務」をタップします。
「充填中…」（薬剤師名）と表示された「薬品充填画面」が表示されます。

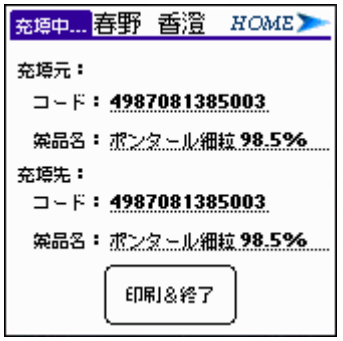



充填する薬品のJANコードを、バーコードリーダーから読み込んでください。
正しく読み込めれば、右のように表示されます。



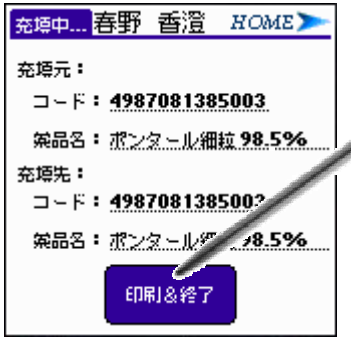

ここで、「充填元」をタップすると、「充填元」フィールドに薬品コードと
薬品名が表示されます。

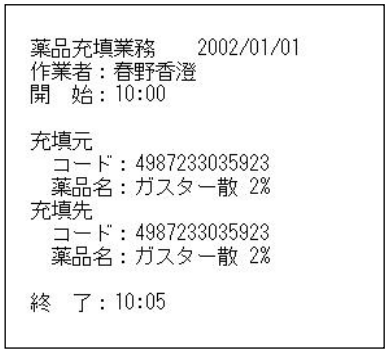
次に、充填先の装置ビン等のバーコード（JANコード）を読み取ります。画面下部に薬品コードと名称が表示されますので、内容が正しければ（容器が合っていれば）、「充填先」をタップします。
先程と同様、「充填先」のフィールドに、コードおよび薬品名が表示されます。




間違えた場合（容器が違うとき）は「キャンセル」してやり直してください。
※充填先容器にはあらかじめバーコードラベルを添付しておいてください。

充填作業が済めば、「印刷&終了」をタップしてください。
充填作業の内容がプリントアウトされます。




## ■ 充填記録の事後参照

プリント指示した充填内容は、事後参照することができます。「調剤記録の事後参照」（p.22）を参照してください。

# 困ったときは

**最もよくあるお問い合わせ：**

**「バーコードを読み取ったのに画面に表示されない。」「画面をタップしてもプリントしない。」などの場合には、PDAとCAMELクレードルのコネクタ接触不良が考えられます。PDA下部（PEG-TJ25 のとき）のLEDをチェックしてください。緑色の場合は、しっかりとセットされていません。LEDがオレンジ色になるようにしっかりと奥まで差し込んでください。**

## PDA に関する問題

### ▼画面が真っ黒のまま、ボタンを押しても反応しない。

▸内部バッテリーの放電が考えられます。
本体の電源プラグが抜けたままになっていませんか？ プラグを本体ジャックに差し込み、しばらく待った後、PDAの電源ボタンを押して起動し、HOME ボタンをタップしてください。画面上部のバッテリーインジケータに充電中を示す「⚡」が表示されていればOKです。

### ▼画面が薄暗い。

▸コントラスト調整が「暗」になっていませんか？電源ボタンを「OFF」側に長押すると、コントラスト「明暗」調節が出来ます。画面が暗いと感じる場合には、コントラスト調節してください。それでも改善しない場合には、クラフトワークへご連絡ください。

### ▼日時が合っていない。

▸CAMEL のスタート画面で、メニュー表示し（「RECMEDIC」と反転表示されている部分をタップします。）、「設定・メンテナンス」のドロップダウン項目から、「日付時刻の設定」をタップします。クロックをタップします。
PDA の「環境設定」-「日付と時刻」が表示されますので、「日時設定…」をタップして、「日付」「時刻」を修正してください。（詳しくは、PDA に同封の「クリエ読本」該当項目をご参照ください）



### ▼バーコード/天秤のデータが表示されない

▸PDA と CAMEL クレードルとが正常に接続されている状態で（このページ最上部をご参照ください）、バーコードの読み取り音がしているにもかかわらず、PDAの画面に何も表示されない場合は、次の各事項を順番にチェックしてください。

① CAMEL クレードル背面のケーブルはきちんと接続されていますか？
② バーコードスキャナ側のケーブルはきちんと接続されていますか？
③ PDAをリセットしてください。
PDAを CAMEL クレードルより取り外し、PDA裏面のリセット:RESET ボタンの穴を、スタイラスで軽く押してください。リセットが実行されるとクリエのスタート画面が表示されます。その後、アプリケーション起動ボタンを押して、Recmedic を起動します。
④ ①～③を試しても状況が改善されない場合は、クラフトワークにご連絡ください。

### ▼「致命的なエラー」「FATAL ERROR」と表示された。

▸PDA と CAMEL クレードルが接触不良のまま、他機器と通信を行おうとすると、上記エラーが起きることがあります。
PDA を CAMEL クレードルにしっかりとセッティングしたうえで、

① 画面に「リセット」ボタンが表示されている場合は、タップすれば、PDAの初期画面に戻ります。
② ボタンが表示されていない場合、タップしても反応しない場合は、前項ご参照のうえ、PDAのリセットボタンを押してください。その後に、PDA を CAMEL クレードルにしっかりとセッティングしてください。

## プリンターに関する問題

### ▼何も印刷されない。

▸プリンタケーブルの接続を確認してください。
きちんと接続されているにもかかわらず、状況が改善されない場合は、クラフトワークにご連絡ください。

有限会社 クラフトワーク
〒594-0065　大阪府和泉市観音寺町534番地の16
電話: 0725-46-0913
FAX: 0725-46-0912
URL: http://www.craftworkcorp.jp/